

むし歯予防対策を強化します

～令和5年度より1歳から4歳未満のお子さんを対象にフッ素塗布事業を実施します～

むし歯の出来る原因を知っていますか？

むし歯とは・・・？

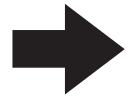
口の中に残った食べカスなどを食べた細菌が、酸を出して歯を溶かしている状態です。また、歯には溶けた部分を治そうとする力もあり、このバランスが崩れ、溶かす力が強くなるとむし歯になります。

そもそも、歯は・・・？

水晶と同じくらいの硬さで、体の中で最も硬いです。表面の硬いエナメル質には神経や血管は通っていません。

むし歯の出来る原因は3つ

- ①細菌
- ②歯の質
- ③甘い飲食物



むし歯を予防するためには

- ①歯みがきをする
- ②歯の質を強くする
- ③食べる時間と量を決める

歯の質を強くするってどういうこと？

歯の質を強くするために有効なのは「フッ素」と言われています。
「フッ素」は、食べ物や私たちの歯や骨、血液中にも存在するものです。そのため、フッ素塗布やフッ化物洗口で、健康被害が出ることはありません。
フッ素を使用することで、歯の質を強くし、むし歯を予防出来ます。

フッ素による作用と効果



作用

効果

むし歯予防

- 歯の表面のエナメル質
- ①エナメル質を丈夫にする
 - ②再石灰化の促進
 - ③歯を溶けにくくする

- 口の中
- ①細菌の活動に必要な酵素の働きを弱める
 - ②抗菌作用

- ①酸産生の抑制
- ②プラーク(歯垢)の抑制

歯質強化



●**歯の生え始めから、すべての歯が生え変わる12歳前後は「歯の質を高めるとても大事な時期」**です。幼児期から継続してフッ素を取り入れることで、歯の質を高めていきます。

ホットニュース



完読賞を受賞した猪苗代中の(左から)長谷川さん、佐藤さん、五十嵐さん

「猪苗代わくわくブック」運動

町では、子どもたちが本に親しみ、豊かな心を育むことを目的として「猪苗代わくわくブック」運動を行っています。

同運動では、町が推薦する図書30冊全てを読んだ児童・生徒には「完読賞」が、推薦図書3冊以上を含む10冊以上の本を読んだ児童・生徒には「読書奨励賞」が贈られます。

10月に猪苗代中学校の生徒3人が完読賞を受賞。中学生での受賞は初めてで、受賞者にはそれぞれ賞状が贈られました。

今年の完読賞の受賞者は、次のとおりです(敬称略)。

【猪苗代小学校】
古川愛結(6年)

【翁島小学校】
加藤柚希(5年)、成田柊(5年)

【千里小学校】
浦杏南(4年)、齋藤瑛太(4年)、長嶺陽菜(4年)、長谷川寛人(4年)、岩崎蒼空(5年)、郡司紗和(5年)、鈴木菜那(5年)、鈴木ひかり(5年)、塚原心花(5年)、皆川光琉(5年)

【吾妻小学校】
佐藤愛翔(2年)、伊東隆遥(2年)、武藤遼真(3年)、青木昂(3年)

【猪苗代中学校】
佐藤大護(2年)、長谷川瑞祈(2年)、五十嵐梓心(1年)

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

橋本 真由 さん

主な活動内容：有害鳥獣対策



令和2年度より鳥獣被害対策を担当している地域おこし協力隊の橋本真由です。

秋になり柿を食べるサルをよく目撃するようになりました。人の住むエリアや畑が近い場合は追い払いを行っています。サルも食べるのに必死で追い払ってもまた戻ってきてしまいます。

よく、「山に餌が無いから人里に下りてくるの？」と聞かれる事がありますが、今の時期、山の中にいるサルは堅果類であるどんぐりなどを食べています。山に餌がないというよりは、人の食べ物のおいしさを学習してしまったという事になります。

堅果類は様々な動物の餌資源ですが、年により凶作や豊作になります。福島県では、堅果類の豊凶調査を行っており、県のホームページで閲覧できるので、興味のある方は確認してみてください。ちなみに今年の会津地方では、ブナが豊作、ミズナラが並作、コナラが並作でした。

堅果類が豊富であったため、今年の秋はツキノワグマの出没も少ないですが、来年の春は親子グマの出没が多くなる可能性が有ります。入林の際は十分な対策をよろしくお願いします。